

令和4年度要望調査票作成用  
Excel マクロファイルの利用にあたって  
【楽酪GO事業（労働負担軽減事業）】

令和4年4月

公益社団法人 中央畜産会

## 目 次

1. はじめに	1
2. ワークシートの構成について	1
3. 要望調査票の作成手順 (別記様式第1号-1)	3
4. 施設要望調査票の作成手順 (別記様式第1号-1別紙1)	9
5. 参加要望書の作成手順 (別記様式第1号)	12
6. ファイル名の付け方について	13
7. 注意すべき選択と入力パターン	14
8. 利用にあたっての推奨環境	19
(資料1) 削減が期待される年間労働時間の考え方	20
(資料2) 選択可能な組合せ表	22

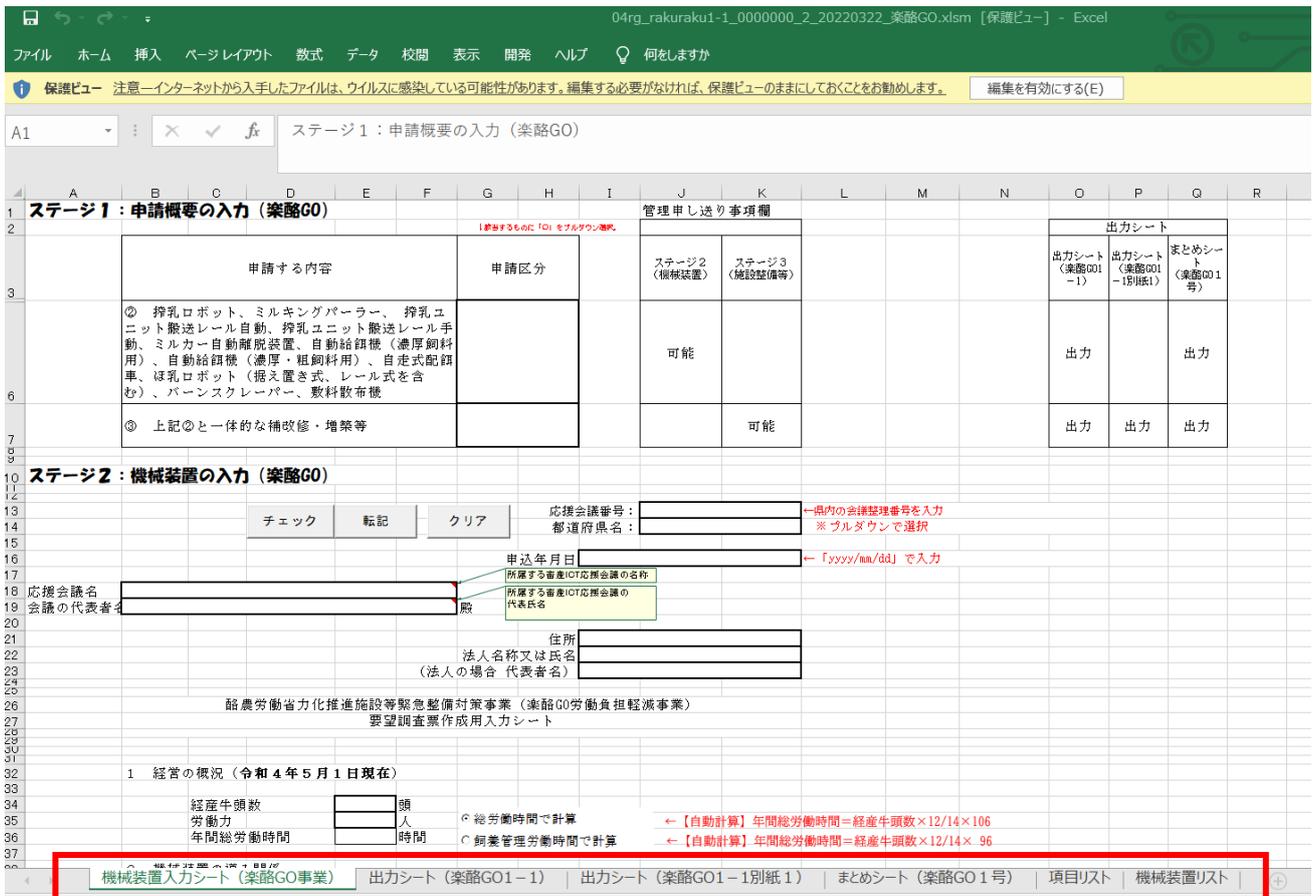
# 1. はじめに

本ファイルは、労働負担軽減経営体（以下、「経営体」という。）が作成する「要望調査票（別記様式第1号-1）」、楽酪応援会議（以下、「応援会議」という。）が作成する「参加要望書（別記様式第1号）」の記入等を効率よく進めるための補助シートです。

提出前に、必ず実施要領に基づき、確認を行ってください。

# 2. ワークシートの構成について

6つのワークシートで構成され、各役割は以下のとおりです。



## 【楽酪GO事業】

ワークシート名	使用の目的	主な使用者
機械装置入力シート	<p>○入力はこのシートで行います。</p> <p>○ここで入力された内容が各シートに反映されます。</p>	経営体

出力シート（楽酪 G01-1）	<p>○機械装置入力シートでステージ1とステージ2を入力後、プリントアウトすれば、提出書類「要望調査票（別記様式第1号-1）」になります。なお、入力手順は3ページからの「3. 要望調査票の作成手順（別記様式第1号-1）」に記載しています。</p> <p>○最終出力ページに、「補助金及び要望調査に関する確認書」がありますので必ずプリントアウトして提出して下さい。</p>	経営体
出力シート（楽酪 G01-1 別紙1）	<p>○施設整備の要望を行う場合、機械装置入力シートでステージ3を入力後、プリントアウトすれば、提出書類「施設整備要望調査票（別記様式第1号-1別紙1）」になります。なお、入力手順は9ページからの「4. 施設要望調査票の作成手順（別記様式第1号-1別紙1）」に記載しています。</p> <p>○コスト分析の基準額を超えた場合は、プリントアウトする前に同シートの「(2) コスト分析基準等を超える理由等」を必ず手入力してから提出して下さい。</p>	経営体
まとめシート（楽酪 G01号）	<p>○応援会議は、当該シートのデータをコピーし、別ファイル「参加要望書（別記様式第1号）」に貼り付けしていただければ、容易に書類作成（入力）できます。</p> <p>○作成後、実施計画書承認申請書（別記様式第2号）に添付し提出して下さい。</p>	応援会議
項目リスト	使用しません（管理用です）。	—
機械装置リスト	使用しません（管理用です）。	—

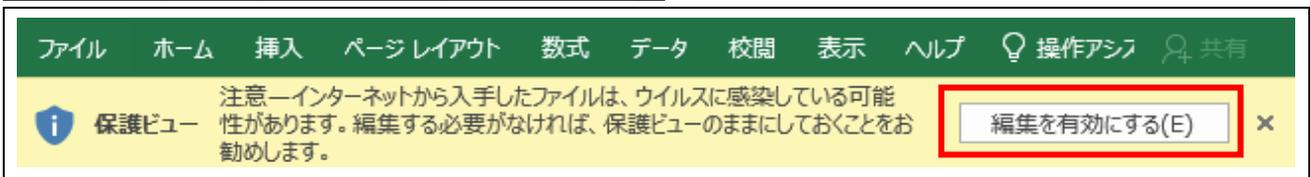
### 3. 要望調査票の作成手順（別記様式第1号-1）

(1) 「04rg\_rakuraku1-1\_0000000.xlsx」ファイルを開きます。

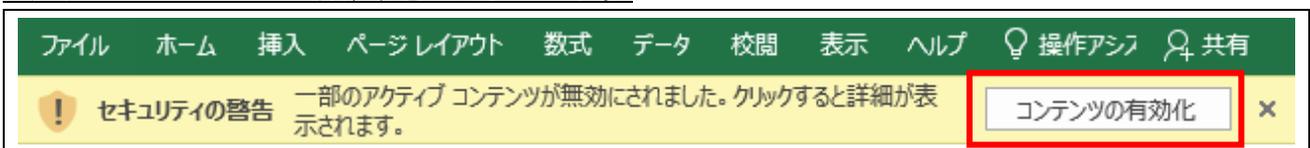
(2) 「ファイルのダウンロード」を押します。



(3) 「編集を有効にする (E)」を押します。



(4) 「コンテンツの有効化」を押します。



注：表示せずにマクロが無効の場合、セキュリティ設定を確認して下さい。（ファイル⇒その他⇒オプション⇒トラストセンター（使用ソフトによって別名でセキュリティセンター等）⇒トラストセンターの設定⇒マクロの設定⇒「警告して、VBAマクロを有効にする」設定）

(5) 機械装置入力シートを開きます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
<b>ステージ1：申請概要の入力（楽酪GO）</b>									管理申し送り事項欄			
									! 該当するものに「O」をプルダウン選択。			
申請する内容						申請区分			ステージ2 (機械装置)	ステージ3 (施設整備等)		
② 搾乳ロボット、ミルクパラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルク自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バースクレーパー、敷料散布機									可能			
③ 上記②と一体的な補改修・増築等										可能		
<b>ステージ2：機械装置の入力（楽酪GO）</b>												
<input type="button" value="チェック"/> <input type="button" value="転記"/> <input type="button" value="クリア"/>						応援会議番号： 都道府県名：			←県内の会議整理番号を入力 ※プルダウンで選択			
						申込年月日			←「yyyy/mm/dd」で入力			
応援会議名 会議の代表者名						所属する畜産IoT応援会議の名称 所属する畜産IoT応援会議の代表氏名						
						住所 法人名称又は氏名 (法人の場合 代表者名)						
酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GO労働負担軽減事業） 要望調査票作成用入力シート												
1 経営の概況（令和4年5月1日現在）												
機械装置入力シート（楽酪GO事業）   出力シート（楽酪GO1-1）   出力シート（楽酪GO1-1別紙1）   まとめシート（楽酪GO												

(6) 「ステージ1：申請概要の入力」プルダウン選択します。(必須)

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクパラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルク自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据置き式、レール式を含む）、バースクレーパー、敷料散布機	○
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	○

注：上記のように、機械装置の導入と施設整備の両方を行う場合はどちらにも選択します。

(7) 「ステージ2：機械装置の入力」の基本情報を手入力します。(必須)

(例)	<input type="button" value="チェック"/> <input type="button" value="転記"/> <input type="button" value="クリア"/>	応援会議番号： <input type="text" value="172"/> 都道府県名： <input type="text" value="北海道"/>
	※都道府県名はプルダウン選択 申込年月日 <input type="text" value="2022/5/1"/>	
応援会議名 <input type="text" value="中畜ICT/楽酪応援会議"/> 会議の代表者 <input type="text" value="神田千代"/> 殿	住所 <input type="text" value="東京都千代田区外神田11111"/> 法人名称又は氏名 <input type="text" value="株式会社中畜ファーム"/> (法人の場合 代表者名) <input type="text" value="公益貞夫"/>	

(8) 「ステージ2：機械装置の入力」の「1 経営の概況」を手入力します。(必須)

1 経営の概況 (令和4年5月1日現在)

経産牛頭数	<input type="text" value="100"/>	頭	↓いずれかを選択 <input type="radio"/> 総労働時間で計算 <input checked="" type="radio"/> 飼養管理労働時間で計算
労働力	<input type="text" value="2"/>	人	
年間総労働時間	<input type="text" value="8,228"/>	時間	

酪農経営	年間総労働時間	= 経産牛頭数 × 12/14 × 106
	年間飼養管理労働時間	= 経産牛頭数 × 12/14 × 96

(9) 「ステージ2：機械装置の入力」の「2 機械装置の導入関係」について、現在の搾乳方式をプルダウン選択します。(必須)

2 機械装置の導入関係

(1) 搾乳方式の改善

①現在の状況

(例) 現状の搾乳方式： 【必須】

自動乳頭洗浄機の保有： ←現在保有の場合に「○」をプルダウンで選択。

(10)「ステージ2：機械装置の入力」の「2 機械装置の導入関係」について、現在の状況と希望する機械装置についての情報を入力します。**プルダウン選択 or 手入力 (必須)**

注：搾乳関係の機械装置を導入する方は(1)、給餌関係の機械装置を導入する方は(2)、飼養管理関係の機械装置を導入する方は(3)を入力します。

**(1) 搾乳方式の改善**

①現在の状況

現状の搾乳方式： **【必須】**←(8)で選択済み

自動乳頭洗浄機の保有： ←現在保有の場合に「○」をプルダウンで選択。

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクングパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルクカー自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名					
型式					
台(式)数					
見積金額(税抜)の計					
消費税額					

**(2) 給餌方式の改善**      ↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。全て未選択の場合は「人力による給餌方式」が自動選択。

①現在の状況

機械装置の種類	自動給餌機(濃厚・粗飼料用)	自動給餌機(濃厚飼料用)	自走式配餌車	ほ乳ロボット(据え置き式、レール式を含む)
機器の保有状況				○

飼料給与関係機械装置の保有状況： ほ乳ロボット

②導入希望の機械装置 (給餌)

機械装置の種類(例)	自動給餌機(濃厚・粗飼料用)	自動給餌機(濃厚飼料用)	自走式配餌車	(ほ乳)ほ乳ロボット(据え置き式、レール式を含む)
機械装置のメーカー名	GEA	<input type="text"/>		
型式	Mix Feeder XL	<input type="text"/>		
台(式)数	1			
見積金額(税抜)の計	12,000,000			
消費税額	1,200,000	←自動計算		

**(3) 家畜飼養管理の改善 (除糞作業)**

①現在の状況

パンスクレーパーの保有：

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	パンスクレーパー
機械装置のメーカー名	
型式	
台(式)数	
見積金額(税抜)の計	
消費税額	

①現在の状況

敷料散布機の保有：

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	敷料散布機
機械装置のメーカー名	
型式	
台(式)数	
見積金額(税抜)の計	
消費税額	

注1：プルダウンリストにない機械装置は手入力して下さい。

- 注2：メーカー名を飛ばして型式から入力するとプルダウンリストが表示されないので注意して下さい。
- 注3：メーカー名は販売業者名（店）ではなく、製造元名です。
- 注4：型式は本体のみで付属機器の型式入力は不要です。
- 注5：台（式）数は本体の台数又は式数を入力して下さい。
- ※ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レールは原則「1」式と入力して下さい。
  - ※ミルカー自動離脱装置は実数を記入して下さい。なお、ミルクパーラー（ミルカー自動離脱装置を標準装備）や搾乳ユニット搬送レール自動はミルカー自動離脱装置の入力は不要です。
  - ※搾乳ロボットはBOX数を入力して下さい。
  - ※バンスクレーパーは、駆動装置の数を入力して下さい。
- 注6：金額は円単位で入力して下さい。

**(1 1) 「ステージ2：機械装置の入力」の「3 機械装置の導入方式」をプルダウン選択します。(必須)**

3 機械装置の導入方式	(例)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">リース方式</div>	※プルダウンで選択
-------------	-----	--	-----------

- 注1：リース方式か購入方式かを選択して下さい。
- 注2：購入方式を選択する場合は、実施要領第7の4の(3)のアに取り組む経営体に限ります。

**(1 2) 「ステージ2：機械装置の入力」の「4 機械装置導入により想定される労働時間の削減効果」について(1)は自動計算又は手入力します(2)はプルダウン選択します。(必須)**

4 機械装置導入により想定される労働時間の削減効果			
(例)	チェックボタン押下後、自動計算されます	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">360</div> 時間 (以下、注1参照)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">400</div>
※削減労働時間は、実施要領別紙11の別添4の第3に基づき算出します			
(1) 労働負担軽減経営体における削減労働時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">機械導入前後で作業日誌等により労働時間を計測・記録して検証する</div>		
(2) 削減労働時間の検証方法			※プルダウンで選択

- 注1：搾乳牛1頭当たり削減労働時間×経産牛頭数×12/14、小数点以下四捨五入
- 注2：削減労働時間を手入力した場合は計算根拠を説明する資料を提出時に添付して下さい。

**(1 3) 「ステージ2：機械装置の入力」の「5 機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組」についてプルダウン選択します。(必須)**

注：プルダウン選択したら、回答根拠を示す添付書類を下表により提出して下さい。

5 機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組

該当の取組がある場合、「○」をプルダウン選択↓

		(参考)左記の回答根拠を示す添付資料の例	(参考)係数
1 後継者	① 今後とも安定的な経営継続が見込まれる経営として(1)又は(2)に該当する経営 (1)主たる経営者が45歳未満 (2)主たる経営者が45歳以上の場合、後継者となる子息・子女又は概ね15歳以上の後継者の確保	年齢の確認できるもの、家族労働協定、農業経営改善計画認定申請書、畜産経営診断結果、酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料 等	0.90
	② ①に該当しない場合、後継者の確保に向けた取組の実施	法人経営の定款 等	0.95
2 乳用後継牛	① 自家の牛群更新に必要な乳用牛を概ね自家生産により確保する経営	牛群検定成績表(乳検成績表)、畜産経営診断結果、酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料 等	0.90
	② ①以外の場合、自家の牛群更新に必要な乳用牛の自家生産に取り組む経営	酪農・畜産専門紙や業界誌の紹介記事、経営コンクールの事例紹介資料 等	0.95
3 生産性向上	① 増頭、飼養管理の高度化等により、生乳生産量の1割以上の増加に取り組む経営	農家から直接あるいは間接的に対象事業者等と締結した生乳受乳販売契約等の生産計画(写)、直近1年間の生乳販売実績がわかる資料 等	0.90
	② ①以外の場合、生乳生産量の増加に取り組む経営	農家から直接あるいは間接的に対象事業者等と締結した生乳受乳販売契約等の生産計画(写)、直近1年間の生乳販売実績がわかる資料 等	0.95
4 その他 (複数回答可)	① 地震・台風等の災害等に備えた、地域における互助協定に参加する経営	災害互助協定書 等	0.95
	② 畜産(酪農)従事者の疾病時等の経営継続に備えた、地域における互助協定に参加する経営	地域の酪農家が相互で締結している疾病時等の互助協定書 等	0.95
	③ 地震・台風等により被災した経営	罹災証明書、被災した時に撮影した畜産施設等の写真 等	0.90
	④ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業による補助を受けていない経営		0.95
	⑤ 牛群検定に加入している経営	牛群検定成績表(乳検成績表)	0.90
	⑥ 供用期間の延長等を図るため、自給飼料の飼料分析や技術者との意見交換を定期的に行う経営	自給飼料の分析結果、地域の支援組織や団体等が開催する自給飼料に関する勉強会の資料及び出席者名簿 等	0.95
	⑦ 応援会議の構成員の中で、JGAP家畜・畜産物の認証農場又は、GAP取得チャレンジシステムの確認済み農場がある場合	JGAP確認書(写)、GAP取得チャレンジの取組農場一覧リストの出力結果 等	0.95
	⑧ 応援会議の構成員の中で、農場HACCP推進農場として指定されている経営がある場合	農場HACCP推進農場指定書(写)、農場HACCP認証書(写) 等	0.95
	⑨ 作業安全に関する取組を実施している経営	「農作業安全シート」の提出	0.90
	⑩ その他、地域への貢献度が高い取組と事業実施主体が特に認めた取組に参加する経営	経営コンクールの表彰状 等	0.90

(14)「ステージ2：機械装置の入力」の「6 労働時間削減効果分析の結果」は自動計算です。

6 労働時間削減効果分析の結果	<b>【自動計算】</b>	(例) 0.146 (注1)	※チェックボタン押下後、自動計算されます
※費用対効果分析の結果は、実施要領の別添11の別添4の第2に基づき算出します。			

(15) 施設整備なしの場合は(15)へ、施設整備を行う場合は9ページへお進み下さい。

(16) ステージ3の2の(1)の《(参考) 導入機械装置》において、導入希望の機械装置の名称をプルダウン選択します。(必須) ※コスト分析の対象外となる機械装置を導入する場合は選択不要です。

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

---

2 施設整備の概要等  
(1) 事業の内容等

《(参考) 導入機械装置》						《施設整備の要望入力》											
機械装置名 ※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。	機械価格 (税抜) (式・台)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の 活用状況 注：②	他事業活用 の場合の 事業名 注：③	事業内容 種目 注：④	施設の 構造、 規格、 能力等	建設面積の 増加の有無	有の場合の 面積 (㎡) 注：⑤	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑥	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
													補助金 注：⑦	自己資金	その他		

メカニカルポンプ  
搾乳ユニット搬送リール自動  
搾乳ユニット搬送リール手動  
シルカー自動除乳装置  
自動給乳機 (高草飼料用)  
自動給乳機 (標準・粗飼料用)  
自主式配糞車

機械装置入力シート (楽酪GO事業) | 出力シート (楽酪GO1-1) | 出力シート (楽酪GO1-1別紙1) | まとめシート (楽酪GO1号) | 項目リスト | 機械装置リスト | +

注：機械装置名をプルダウン選択すると、機械価格（税抜）にステージ2で入力した見積金額（税抜）の計が、数量（式・台）にステージ2での台（式）数が自動で表示されます。

(17) 【コスト分析用】単価（/式・台）を手入力します。(必須)

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

---

2 施設整備の概要等  
(1) 事業の内容等

《(参考) 導入機械装置》						《施設整備の要望入力》											
機械装置名 ※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。	機械価格 (税抜) (式・台)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の 活用状況 注：②	他事業活用 の場合の 事業名 注：③	事業内容 種目 注：④	施設の 構造、 規格、 能力等	建設面積の 増加の有無	有の場合の 面積 (㎡) 注：⑤	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑥	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
													補助金 注：⑦	自己資金	その他		

機械装置入力シート (楽酪GO事業) | 出力シート (楽酪GO1-1) | 出力シート (楽酪GO1-1別紙1) | まとめシート (楽酪GO1号) | 項目リスト | 機械装置リスト | +

参考：機械装置の導入のコスト分析基準額（ALIC 事業「畜産業振興事業の実施について」）

コスト分析の対象機械	基準額（税抜）	基準額と比較する対象（この部分の金額がわかるよう見積書の明細を取得）
搾乳ロボット（つなぎ用を除く）	3200 万円／台	ワンボックスタイプ（標準装備の本体一式。カウゲートなどオプションは除く）
搾乳ユニット搬送レール自動	160 万円／台	自動搬送装置 1 台＋自動離脱装置 2 台
搾乳ユニット搬送レール手動	70 万円／台	自動離脱装置 1 台
ミルクカー自動離脱装置	70 万円／台	自動離脱装置 1 台
自動給餌機	2400 万円／台	フィーダー本体（吊下式）
ほ乳ロボット（レール式）	900 万円／台	哺乳機 1 台＋カーフレール 2 台
ほ乳ロボット（据置式）	400 万円／台	コンビタイプ
自走式配餌車	400 万円／台	オーガなし
バースクレーパー	60 万円／台	スクレーパー本体 1 台

（記入例） 搾乳ユニット搬送レール（自動）の場合

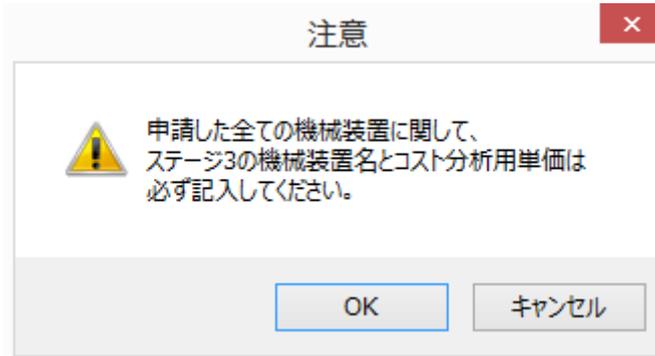
全国事業推進会議 P54 ページより

見積例						
区分	品名	型式	単価	数量	金額	備考
本体	搾乳ユニット搬送レール自動	UCA30A	2,000,000 円	1 式	2,000,000 円	対尻式 ○m ○頭対応
本体	自動搬送装置	UCA30A	600,000 円	4 台	2,400,000 円	楽酪 G0 コスト分析対象
本体	ミルクカー自動離脱装置	MMD500	400,000 円	8 台	3,200,000 円	〃
	小計				7,600,000 円	
付属機器	パイプライン		円	1 式	2,000,000 円	
付属機器	受乳装置	PMH64SJ	1,600,000 円	1 台	1,600,000 円	
付属機器	真空発生装置	DK-18HB	1,500,000 円	1 台	1,500,000 円	
付属機器	洗浄システム		500,000 円	1 式	500,000 円	
	小計				5,600,000 円	
	計				13,200,000 円	

自動搬送装置 600,000 円／台 ＋ ミルクカー自動離脱装置 800,000 円／2 台  
＝1,400,000 円（コスト分析用単価）

1,400,000 円＜基準額 1,600,000 円 となり、基準額を下回ります。

注：コスト分析の対象となる機械装置について、(15)(16)の作業を行わずに転記しようとすると、以下のエラーメッセージが画面上に表示されますので、ご注意ください。



**(18) コスト分析用単価が基準額を超えて要望する場合は、出力シート(楽酪G01-1別紙1)の(2)に理由を手入力します。(基準額を超える場合は必須)**

(2) コスト分析基準等を超える理由等 (該当する場合のみ記入) 該当する場合は必ず記入してください。  
(※この注意書は印刷時に表示されません。)

①増築等においてコスト分析基準を超える理由 (該当するものに○をつけること)		添付書類
理由		
	既存の建物と構造的に調和した設計とするため、基準を上回る結果となった。	施工箇所、施工面積及び施工内容がわかる設計書等及び金額明細がわかる資料
	【 】という地域性により、【 】等といった特殊な工法、構造、資材等が必要であり、基準を上回る結果となった。	
	機械装置にあわせ【 】等の平米単価の高い工事を行ったため、基準を上回る結果となった。	
その他【 】		
②機械装置の導入においてコスト分析基準を超える理由 (該当するものに○をつけること)		添付書類
理由		
	コスト分析基準で示されたものとは、規模等が異なるため、基準を上回る結果となった。	導入機械装置の仕様及び金額明細がわかる資料
	今回導入する機械装置が、コスト分析基準で示されたものに一致しない。導入仕様・相違点【 】	
	その他【 】	

注：基準額を超過しても、合理的な理由が提示されれば申請可能です。その場合、具体的な理由を説明する資料を添付して下さい。

**(19) 「ステージ2：機械装置の入力」の下にある チェック を押下し、入力漏れがないか確認します。**

注：エラーもしくは入力漏れがある場合、セルが赤くなります。修正または入力が必要です。

**(20) 「ステージ2：機械装置の入力」の下にある 転記 を押下します、出力シート(楽酪G01-1)に転記されます。**

注：別記様式第1号-1の最終出力ページに「補助金及び要望調査に関する確認書」があるので忘れずにプリントアウトして下さい。

**(21) 「ステージ2：機械装置の入力」の下にある クリア を押下した場合、入力した内容がクリアされます。**

**(22) 必要となる添付書類を添えて応援会議に提出して下さい(終了)。**

#### 4. 施設要望調査票の作成手順（別記様式第1号1号-1別紙1）

（1）「ステージ3：酪農労働・・・施設整備等要望の入力」の「1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性」について手入力します。（必須）

(例)

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性  
第1牛舎に走行用レールを設置するための通路床部分の整地・補強及び飼料保管庫部分の増築を行う

2 施設整備の概要等  
 (1) 事業の内容等

《施設整備の要望入力》

《（参考）導入機械装置》					事業内容		建設面積の増加の有無	有の場合の面積
機械装置名	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の活用状況 他事業活用の場合の事業名 注：②	種目 注：④	施設の構造、規格、能力等 注：⑤		
※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。 機械装置入力シート (案略GO事業)								

出力シート (案略GO1-1) | 出力シート (案略GO1-1別紙1) | まとめシート (案略GO1号) | 項目リスト | 機械装置リスト

（2）ステージ3の2の（1）の《（参考）導入機械装置》において、導入希望の機械装置の名称をプルダウン選択します。（必須） ※コスト分析の対象外となる機械装置を導入する場合は選択不要です。

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

2 施設整備の概要等  
 (1) 事業の内容等

《施設整備の要望入力》

《（参考）導入機械装置》					事業内容				竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
機械装置名	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の活用状況 他事業活用の場合の事業名 注：②	種目 注：④	施設の構造、規格、能力等 注：⑤	建設面積の増加の有無	有の場合の面積 (㎡)			【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑥	補助金 注：⑧	自己資金		
プルダウン ミルクバレー 搾乳ユニット搬送レール自動 搾乳ユニット搬送レール手動 ミルク自動搬送装置 自動給餌機 (濃厚・担飼料用) 自動給餌機 (濃厚・担飼料用) 目定制配給機															

機械装置入力シート (案略GO事業) | 出力シート (案略GO1-1) | 出力シート (案略GO1-1別紙1) | まとめシート (案略GO1号) | 項目リスト | 機械装置リスト

注：機械装置名をプルダウン選択すると、機械価格（税抜）にステージ2で入力した見積金額（税抜）の計が、数量（式・台）にステージ2での台（式）数が自動で表示されます。

**(3) 【コスト分析用】単価（/式・台）を手入力します。（必須）**

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

＜（参考）導入機械装置＞				
機械装置名	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の 活用状況 注：②
※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。				他事業活用の場合の事業名注：③

＜施設整備の要望入力＞

事業内容	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
			補助金 注：⑤	自己資金	その他		
種目 注：④	施設 の 構造、 規格、 能力等	建設面積の 増加の 有無	有の場合の 面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑥			

参考：機械装置の導入のコスト分析基準額（ALIC 事業「畜産業振興事業の実施について」）

コスト分析の対象機械	基準額（税抜）	基準額と比較する対象（この部分の金額がわかるよう見積書の明細を取得）
搾乳ロボット（つなぎ用を除く）	3200 万円/台	ワンボックスタイプ（標準装備の本体一式。カウゲートなどオプションは除く）
搾乳ユニット搬送レール自動	160 万円/台	自動搬送装置 1 台 + 自動離脱装置 2 台
搾乳ユニット搬送レール手動	70 万円/台	自動離脱装置 1 台
ミルクカー自動離脱装置	70 万円/台	自動離脱装置 1 台
自動給餌機	2400 万円/台	フィーダー本体（吊下式）
ほ乳ロボット（レール式）	900 万円/台	哺乳機 1 台 + カーフレール 2 台
ほ乳ロボット（据置き式）	400 万円/台	コンビタイプ
自走式配餌車	400 万円/台	オーガなし
バンスクレーパー	60 万円/台	スクレーパー本体 1 台

(記入例) 搾乳ユニット搬送レール(自動)の場合

全国事業推進会議 P54 ページより

見積例						
区分	品名	型式	単価	数量	金額	備考
本体	搾乳ユニット 搬送レール自動	UCA30A	2,000,000 円	1 式	2,000,000 円	対尻式 ○m ○頭対応
本体	自動搬送装置	UCA30A	600,000 円	4 台	2,400,000 円	楽酪 GO コスト分析 対象
本体	ミルカー自動離脱装置	MMD500	400,000 円	8 台	3,200,000 円	〃
	小計				7,600,000 円	
付属機器	パイプライン		円	1 式	2,000,000 円	
付属機器	受乳装置	PMH64SJ	1,600,000 円	1 台	1,600,000 円	
付属機器	真空発生装置	DK-18HB	1,500,000 円	1 台	1,500,000 円	
付属機器	洗浄システム		500,000 円	1 式	500,000 円	
	小計				5,600,000 円	
	計				13,200,000 円	

自動搬送装置 600,000 円/台 + ミルカー自動離脱装置 800,000 円/2台  
=1,400,000 円 (コスト分析用単価)

1,400,000 円 < 基準額 1,600,000 円 となり、基準額を下回ります。

(4) 補助事業の活用状況をプルダウン選択します。(必須) ※「他事業」選択の場合  
は、事業名を必ず手入力してください。

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

≪（参考）導入機械装置≫					≪施設整備の要望入力≫										
機械装置名 ※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の活用状況 注：② 他事業活用の場合の事業名 注：③	事業内容 種目 注：④ 施設の構造、規格、能力等	建設面積の増加の有無	有の場合の面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑤	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
											補助金 注：⑥	自己資金	その他		
						無									
						無									
						無									
						無									
						無									
						無									

[機械装置入力シート \(案略GO事業\)](#) | 
 [出力シート \(案略GO1-1\)](#) | 
 [出力シート \(案略GO1-1別紙1\)](#) | 
 [まとめシート \(案略GO1号\)](#) | 
 [項目リスト](#) | 
 [機械装置リスト](#) | 
 (+)

(5) 《施設整備の要望入力》について、種目を手入力します。(必須)

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

≪（参考）導入機械装置≫					≪施設整備の要望入力≫										
機械装置名 ※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の活用状況 注：② 他事業活用の場合の事業名 注：③	事業内容 種目 注：④ 施設の構造、規格、能力等	建設面積の増加の有無	有の場合の面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑤	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
											補助金 注：⑥	自己資金	その他		
					第1牛舎の改修及び飼料保管庫の増築	無									
						無									
						無									
						無									
						無									

[機械装置入力シート \(案略GO事業\)](#) | 
 [出力シート \(案略GO1-1\)](#) | 
 [出力シート \(案略GO1-1別紙1\)](#) | 
 [まとめシート \(案略GO1号\)](#) | 
 [項目リスト](#) | 
 [機械装置リスト](#) | 
 (+)

(6) 《施設整備の要望入力》について、施設の構造、規格、能力等を手入力します。  
(必須)

ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

《（参考）導入機械装置》						《施設整備の要望入力》					竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)
機械装置名	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事 業の 活用状 況 注：②	他事業 活用の 場合の 事業名 注：③	種目 注：④	施設の 構造、 規格、 能力等	建設面積の 増加の 有無	有の場合の 面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑤		
※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。						⇒ 第1牛舎の改修及び飼料保管庫の増築	木造鉄骨	無				
						⇒		無				
						⇒		無				
						⇒		無				

(7) 《施設整備の要望入力》について、建設面積の増加の有無をプルダウン選択します。  
(必須) 増築の場合は、「有」を選択します。

ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

《（参考）導入機械装置》						《施設整備の要望入力》					竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)
機械装置名	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事 業の 活用状 況 注：②	他事業 活用の 場合の 事業名 注：③	種目 注：④	施設の 構造、 規格、 能力等	建設面積の 増加の 有無	有の場合の 面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑤		
※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。						⇒ 第1牛舎の改修及び飼料保管庫の増築	木造鉄骨	有				
						⇒		無				
						⇒		無				
						⇒		無				

(8) (7) で「有」を選択した場合、建築面積の増加部分に係る面積を手入力します。  
（「有」選択の場合に必須）

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

≪（参考）導入機械装置≫						≪施設整備の要望入力≫						
機械装置名 <small>※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。</small>	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の 活用状況 注：②	他事業 活用 の場合の 事業名 注：③	事業内容		建設面積の 増加の 有無	有の場合の 面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑤	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)
						種目 注：④	施設の 構造、 規格、 能力等					
						⇒	第1牛舎の改修及び飼料保管庫の増築	木造鉄骨	有			
						⇒			無			
						⇒			無			
						⇒			無			

(9) (7) で「有」を選択した場合、コスト分析用単価を手入力します。  
（「有」選択の場合に必須）

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

第1牛舎に走行用レールを設置するための通路部分の整地・補強及び飼料保管庫の増築を行う

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

≪（参考）導入機械装置≫						≪施設整備の要望入力≫											
機械装置名 <small>※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。</small>	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の 活用状況 注：②	他事業 活用 の場合の 事業名 注：③	事業内容		建設面積の 増加の 有無	有の場合の 面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：⑤	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
						種目 注：④	施設の 構造、 規格、 能力等						補助金 注：⑥	自己資金	その他		
						⇒	第1牛舎の改修及び飼料保管庫の増築	木造鉄骨	有	50							
						⇒			無								
						⇒			無								
						⇒			無								
						⇒			無								

参考：機械装置の導入のための施設整備のコスト分析基準額（ALIC 事業「畜産業振興事業の実施について」）

コスト分析の対象施設	基準額（税抜）	基準額と比較する対象（この部分の金額がわかるよう見積書の明細を取得）
乳用牛舎、飼料原料保管施設等	45000 円／㎡	建築面積の増加部分にかかる施設本体の建設費（代行施設管理料、製造請負管理料、実施設計費、既存施設の撤去費用、ストール等付帯部分に係る施行費用等は除く）
飼料調整施設	50000 円／㎡	

**（10）《施設整備の要望入力》について、竣工予定又は完了年月日を手入力します。  
（必須）**

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

第1牛舎に走行用レールを設置するための通路床部分の整地・補強及び飼料保管庫の増築を行う

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

《（参考）導入機械装置》						《施設整備の要望入力》											
機械装置名 ※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。	機械価格 (税抜) (式・台)	数量	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の活用状況 注：②	他事業活用の場合の事業名 注：③	事業内容		建設面積の増加の有無	有の場合の面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：④	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
						種目 注：⑤	施設の構造、規格、能力等						補助金 注：⑥	自己資金	その他		
						⇒	第1牛舎の改修及び飼料保管庫の増築	木造鉄骨	有	50	30,000						
						⇒			無								
						⇒			無								
						⇒			無								
						⇒			無								

(例) 西暦 ●●●●／△△／□□

**（11）《施設整備の要望入力》について、事業費（税抜）を手入力します。（必須）  
※施設整備にかかる総事業費（税抜）です。**

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性

第1牛舎に走行用レールを設置するための通路床部分の整地・補強及び飼料保管庫の増築を行う

2 施設整備の概要等

(1) 事業の内容等

《（参考）導入機械装置》						《施設整備の要望入力》											
機械装置名 ※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。	機械価格 (税抜) (式・台)	数量	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事業の活用状況 注：②	他事業活用の場合の事業名 注：③	事業内容		建設面積の増加の有無	有の場合の面積 (㎡)	【コスト分析用】 単価 (/㎡) 注：④	竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分			補助率	備考
						種目 注：⑤	施設の構造、規格、能力等						補助金 注：⑥	自己資金	その他		
						⇒	第1牛舎の改修及び飼料保管庫の増築	木造鉄骨	有	50	30,000	2023/1/30					
						⇒			無								
						⇒			無								
						⇒			無								
						⇒			無								

機械装置入力シート（案略GO事業） 出力シート（案略GO1-1） 出力シート（案略GO1-1別紙1） まどめシート（案略GO1号） 項目リスト 機械装置リスト (+)

注：事業費（税抜）を入力すると、自己資金が同じ金額で出力されますが、補助金を入力することで調

整されます。

(12)《施設整備の要望入力》について、補助金を手入力します。(必須)  
**※機械価格(税抜)の1/2が上限となります。**

**ステージ3：酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）施設整備等要望の入力**

1 機械装置の導入と一体的な施設整備の必要性  
 第1牛舎に走行用レールを設置するための通路部分の整地・補強及び飼料保管庫の増築を行う

2 施設整備の概要等  
 (1) 事業の内容等

《(参考)導入機械装置》						《施設整備の要望入力》					竣工予定 又は 完了年月日	事業費 (税抜)	負担区分		補助率	備考
機械装置名	機械価格 (税抜)	数量 (式・台)	【コスト分析用】 単価(/式・台) 注：①	補助事 業の 活用状 況 注：②	他事業 活用の 場合の 事業名 注：③	種目 注：④	施設 の 構造、 規格、 能力等	建設面積の 増加の 有無	有の場合の 面積(m <sup>2</sup> )	【コスト分析用】 単価 (/m <sup>2</sup> ) 注：⑤			補助金 注：⑥	自己資金		
※該当する機械装置がない場合、直接入力して下さい。						第1牛舎の改修及び飼料保管庫の増築	木造鉄骨	有	50	30,000	2,350,000	2,350,000				
								無								
								無								
								無								
								無								

注：補助金を入力すると補助率が自動で出力されます。

(13)「ステージ2：機械装置の入力」の下にある **チェック** を押下し、入力漏れがないか確認します。

注：エラーもしくは入力漏れがある場合、セルが赤くな

(14)「ステージ2：機械装置の入力」の下にある **転記** を押下します、出力シート(楽酪G01-1別紙1)に転記されます。

(15)「ステージ2：機械装置の入力」の下にあ **クリア** を押下した場合、入力した内容がクリアされます。

**(16) 機械装置及び施設整備において、コスト分析の基準額を超える場合は、出力シート(楽酪G01-1別紙1)の(2)に理由を手入力します。(必須)**

(2) コスト分析基準等を超える理由等 (該当する場合のみ記入)		添付書類
①増築等においてコスト分析基準を超える理由 (該当するものに○をつけること)		
	理由	
	既存の建物と構造的に調和した設計とするため、基準を上回る結果となった。	施工箇所、施工面積及び施工内容がわかる設計書等及び金額明細がわかる資料
○	【豪雪地域】という地域性により、【壁を厚くする】等といった特殊な工法、構造、資材等が必要であり、基準を上回る結果となった。	
	機械装置にあわせ【 】等の平米単価の高い工事を行ったため、基準を上回る結果となった。	
	その他【 】	
②機械装置の導入においてコスト分析基準を超える理由 (該当するものに○をつけること)		
	理由	
	コスト分析基準で示されたものとは、規徳等が異なるため、基準を上回る結果となった。	導入機械装置の仕様及び金額明細がわかる資料
	今回導入する機械装置が、コスト分析基準で示されたものに一致しない。導入仕様・相違点【 】	
	その他【 】	

注：基準額を超過しても、合理的な理由が提示されれば申請可能です。その場合、具体的な理由を説明する資料を添付して下さい。

**(17) 出力シート(楽酪G01-1、楽酪G01-1別紙1)、その他必要な添付書類を添えて応援会議に提出して下さい(終了)。**



## 6. ファイル名の付け方について

### (1) 要望調査票の場合 (別記様式第1号-1)

初期状態 04rg\_rakuraku1-1\_0000000.xlsx



「0000000」の部分を以下のように変更します。

県番号 (半角2桁) + 県内の応援会議コード (半角2桁) \_生産者名 (全角で経営主氏名又は法人名称)

注1: 姓と氏名の上にスペースを入れないで下さい。

注2: 法人の場合、「株、有」などのいわゆる環境依存文字や「(株)、(有)」などの「(」,「)」での省略は使用せず、「株式会社」「有限会社」「農事組合法人」など正式な日本語で表記して下さい。

(例) 県番号 01 会議コード 72 中畜 ICT/楽酪応援会議 株式会社中畜ファーム  
04rg\_rakuraku1-1\_0172\_株式会社中畜ファーム.xlsx

### (2) 参加要望書の場合 (別記様式第1号)

初期状態 R4rakuG0yobo\_youshiki.xlsx

先頭に、県番号 (半角2桁) + 県内の応援会議コード (半角2桁)

(例) 県番号 01 会議コード 72 中畜 ICT/楽酪応援会議の場合  
0172\_R4rakuG0yobo\_youshiki.xlsx

## 7. 注意すべき選択と入力のパターンについて

### ①-1 「ミルク自動離脱装置」のみの申請

現 状：バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置なし） 48 時間  
 導入後：バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり） 40 時間

#### ステージ1：申請概要の入力

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルク自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バンスクレーパー、敷料散布機	○
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	

#### ステージ2：機械装置の入力

##### (1) 搾乳方式の改善

###### ①現在の状況

現状の搾乳方式：  【必須】

自動乳頭洗浄機の保有：  ←現在保有の場合に「○」をプルダウンで選択。

###### ②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルク自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名					オリオン機械
型式					MMD500
台(式)数					8
見積金額（税抜）の計					4,000,000
消費税額					400,000

### ①-2 「ミルク自動離脱装置」のみの申請

現 状：搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置なし） 46 時間  
 導入後：搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置あり） 38 時間

現状の搾乳ユニット手動搬送にミルク自動離脱装置を導入する場合

#### ステージ1：申請概要の入力

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルク自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バンスクレーパー、敷料散布機	○
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	

## ステージ 2：機械装置の入力

### (1) 搾乳方式の改善

#### ①現在の状況

現状の搾乳方式： **【必須】**

自動乳頭洗浄機の保有： ←現在保有の場合に「○」をプルダウンで選択。

#### ②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクングパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルクカー自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名					オリオン機械
型式					MMD500
台(式)数					8
見積金額（税抜）の計					4,000,000
消費税額					400,000

### ①-3 「ミルクカー自動離脱装置」のみの申請

現 状：ミルクングパーラー（自動離脱装置なし） 42 時間

導入後：ミルクングパーラー（自動離脱装置あり） 34 時間

**現状のミルクングパーラーにミルクカー自動離脱装置を導入する場合**

**現状 M6 と別型式の M7 ミルクングパーラー導入の場合は⑤-5 参照**

## ステージ 1：申請概要の入力

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクングパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルクカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、パーンスクレーパー、敷料散布機	○
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	

## ステージ 2：機械装置の入力

### (1) 搾乳方式の改善

#### ①現在の状況

現状の搾乳方式： **【必須】**

自動乳頭洗浄機の保有： ←現在保有の場合に「○」をプルダウンで選択。

#### ②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクングパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルクカー自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名					GEA
型式					デマトロン75
台(式)数					16
見積金額（税抜）の計					6,400,000
消費税額					640,000

②-1 「搾乳ユニット搬送レール手動方式」のみの申請

現 状：バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置なし） 48 時間  
 導入後：搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置なし） 46 時間

ステージ1：申請概要の入力

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクングパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルクカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バーンスクレーパー、敷料散布機	<input type="radio"/>
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	

ステージ2：機械装置の入力

(1) 搾乳方式の改善

①現在の状況

現状の搾乳方式： 【必須】

自動乳頭洗浄機の保有： ←現在保有の場合に「○」をプルダウンで選択。

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクングパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルクカー自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名				オリオン機械	
型式				UCR75	
台(式)数				1	
見積金額（税抜）の計				8,000,000	
消費税額				800,000	

②-2 「搾乳ユニット搬送レール手動方式」のみの申請

現 状：バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり） 40 時間  
 導入後：搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置あり） 38 時間

現状のミルクカー自動離脱装置に搾乳ユニット手動搬送を導入する場合

ステージ1：申請概要の入力

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクングパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルクカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バーンスクレーパー、敷料散布機	<input type="radio"/>
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	

## ステージ2：機械装置の入力

### (1) 搾乳方式の改善

#### ①現在の状況

現状の搾乳方式： **[必須]**

自動乳頭洗浄機の保有： ←現在保有の場合に「○」をプルダウンで選択。

#### ②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクングパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルクカー 自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名				オリオン機械	
型式				UCR75	
台(式)数				1	
見積金額(税抜)の計				8,000,000	
消費税額				800,000	

### ③-1 「搾乳ユニット搬送レール手動方式」＋「自動離脱装置」の申請

「搾乳ユニット搬送レール手動方式」を導入して、同時に「自動離脱装置」を導入する場合は、それぞれの欄に記入して下さい。

現 状：バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置なし） **48時間**

導入後：搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置あり） **38時間**

## ステージ1：申請概要の入力

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクングパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルクカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、パンスクレーパー、敷料散布機	○
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	

## ステージ2：機械装置の入力

### (1) 搾乳方式の改善

#### ①現在の状況

現状の搾乳方式： **[必須]**

自動乳頭洗浄機の保有： ←現在保有の場合に「○」をプルダウンで選択。

#### ②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクングパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルクカー 自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名				オリオン機械	オリオン機械
型式				UCR75	MMD500
台(式)数				1	8
見積金額(税抜)の計				8,000,000	4,000,000
消費税額				800,000	400,000

④-1~4「搾乳ユニット搬送レール自動方式」の申請

「搾乳ユニット搬送レール自動方式」を導入する場合はすべて「搾乳ユニット搬送レール自動搬送方式」に入力して下さい。ミルカー自動離脱装置への入力は不要(不可)です。

現 状：バケツ及びパイプライン方式（自動離脱なし）	48 時間	④-1
バケツ及びパイプライン方式（自動離脱あり）	40 時間	④-2
搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱なし）	46 時間	④-3
搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱あり）	38 時間	④-4
導入後：搾乳ユニット自動搬送方式	34 時間	

ステージ1：申請概要の入力

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクパーラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルカー自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、ほ乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バンスクレーパー、敷料散布機	○
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	

ステージ2：機械装置の入力

(1) 搾乳方式の改善

①現在の状況

現状の搾乳方式： 必須

自動乳頭洗浄機の保有： をプルダウンで選択。

②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクパーラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルカー自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名			オリオン機械		
型式			UCA30A		
台(式)数				1	
見積金額（税抜）の計			10,000,000		
消費税額			1,000,000		

⑤-1~5「ミルクパーラー」のみの申請

現 状：バケツ及びパイプライン方式（自動離脱装置なし）	48 時間	⑤-1
バケツ及びパイプライン方式（自動離脱装置あり）	40 時間	⑤-2
搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置なし）	46 時間	⑤-3
搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置あり）	38 時間	⑤-4
<b>ミルクパーラー（自動離脱装置なし）</b>	<b>42 時間</b>	<b>⑤-5</b>
導入後：ミルクパーラー（自動離脱装置あり）	34 時間	

## ステージ1：申請概要の入力

申請する内容	申請区分
② 搾乳ロボット、ミルクパラー、搾乳ユニット搬送レール自動、搾乳ユニット搬送レール手動、ミルク自動離脱装置、自動給餌機（濃厚飼料用）、自動給餌機（濃厚・粗飼料用）、自走式配餌車、は乳ロボット（据え置き式、レール式を含む）、バンスクレーパー、敷料散布機	○
③ 上記②と一体的な補改修・増築等	

## ステージ2：機械装置の入力

### (1) 搾乳方式の改善

#### ①現在の状況

現状の搾乳方式：	<input type="text" value="バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置なし）"/> <span style="color: red;">必須</span>
自動乳頭洗浄機の保有：	<input type="text" value="バケット及びパイプライン方式（自動離脱装置あり）"/> <span style="color: red;">をプルダウンで選択。</span>
	<input type="text" value="搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置なし）"/>
	<input type="text" value="搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱装置あり）"/>
	<input type="text" value="ミルクパラー方式（自動離脱装置なし）"/>
	<input type="text" value="ミルクパラー方式（自動離脱装置あり）"/>
	<input type="text" value="搾乳ロボット方式"/>

#### ②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルクパラー	搾乳ユニット搬送レール		ミルク自動離脱装置
			自動搬送方式	手動搬送方式	
機械装置のメーカー名		GEA			
型式		マグナム90iVL			
台(式)数		1			
見積金額（税抜）の計		20,000,000			
消費税額		2,000,000			

## 8. 利用にあたっての推奨環境

OS：Windows8、8.1、10

EXCEL：2016、2019、Microsoft365

## (資料1) 削減が期待される年間労働時間の考え方

(実施要領別添の第3)

これらの機械装置による作業については、牛1頭当たりの年間労働時間（時間／頭・年）が、下表（実施要領別表）のとおり定められており、現況の保有機器との年間労働時間の差（注）に、各経営の飼養頭数を乗じて削減労働時間が自動計算されます。複数の機器がある場合は、これらを足し合わせて算出されます。

（注：現況に比較して削減される場合のみ有効、それ以外はエラーとなります）

### 【搾乳作業】

(搾乳方式)

	搾乳牛1頭当たり搾乳時間 (時間／頭・年)
バケット及びパイプライン方式（自動離脱なし）	48時間
バケット及びパイプライン方式（自動離脱あり）	40時間
搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱なし）	46時間
搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱あり）	38時間
搾乳ユニット自動搬送方式	34時間
ミルクングパーラー方式（自動離脱なし）	42時間
ミルクングパーラー方式（自動離脱あり）	34時間
搾乳ロボット方式	7時間

### 【給餌作業】

	搾乳牛1頭当たり給餌時間（時間／頭・年）
人力による給餌方式	43時間
自走式配餌車による給餌方式	37時間
自動給餌方式（濃厚飼料）	16時間
自動給餌方式（濃厚・粗飼料）	14時間

(子牛（ほ乳）)

	搾乳牛1頭当たりほ乳時間 (時間／頭・年)
人力によるほ乳方式	3時間
ほ乳ロボット方式（据置式、レール式を含む）	0時間

【生産管理作業】

(除糞作業)

	搾乳牛 1 頭当たり労働時間 (時間/頭・年)
ホイールローダ等バースクレーパーによらない除糞	5 時間
バースクレーパーによる除糞	0 時間

(敷料散布作業)

	搾乳牛 1 頭当たり労働時間 (時間/頭・年)
人力による敷料散布	3 時間
敷料散布機による敷料散布	0 時間

(資料2) 選択可能な組合せ表

労働時間の削減が自動算定される、現申請（要望）可能な組合せは、下表に示すとおりで多岐にわたります。

表1 現状の搾乳方式と導入希望機械装置の選択可能な組合せ									
機械装置導入による1頭当たり削減労働時間（時間／頭・年）									
導入希望の機械装置		現況の搾乳方式							
		M1 48h	M2 40h	M3 46h	M4 38h	M5 34h	M6 42h	M7 34h	M8 7h
自動離脱装置	M2 40h	-8h 申請可	0h 増設可						
手動搬送レール	M3 46h	-2h 申請可	-2h 申請可 注1	0h 不可					
手動搬送レール +自動離脱装置	M4 38h	-10h 申請可	-2h 申請可	-8h 自動離 脱のみ 申請可	0h 自動離 脱 増設可				
自動搬送レール 自動離脱装置標 準装備	M5 34h	-14h 申請可	-6h 申請可	-12h 申請可	-4h 申請可	0h 増設可	不可		
ミルクパー ラー（自動離脱 装置あり）	M7 34h	-14h 申請可	-6h 申請可	-12h 申請可	-4h 申請可	0h 不可	注2 申請可	0h 方式変更 自動離脱 増設可	
搾乳ロボット	M8 7h	-41h 申請可	-33h 申請可	-39h 申請可	-31h 申請可	-27h 申請可	-35h 申請可	-27h 申請可	0h 不可
各搾乳方式の搾 乳牛1頭当たり の搾乳時間（時 間／年・頭）		M1: バケツ及びパイプライン方式（自動離脱なし）	48時間						
		M2: バケツ及びパイプライン方式（自動離脱あり）	40時間						
		M3: 搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱なし）	46時間						
		M4: 搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱あり）	38時間						
		M5: 搾乳ユニット自動搬送方式	34時間						
		M6: ミルキングパーラー方式（自動離脱なし）	42時間						
		M7: ミルキングパーラー方式（自動離脱あり）	34時間						
		M8: 搾乳ロボット方式	7時間						
注1：現状の自動離脱装置と導入する搾乳ユニット手動搬送方式とを組み合わせると搾乳ユニット手動搬送方式（自動離脱あり）38hとする									
注2：現状がミルクパーラー方式（自動離脱装置なし）でミルクパーラー式（自動離脱装置あり）を導入希望の場合、以下2つのケースに分かれます。									
ケース1：現況ミルクパーラー（自動離脱なし）にミルク自動離脱装置のみ導入→要望調査票にミルク自動離脱装置（ミルクパーラー用）をプルダウンリ									

ストから選択（メーカー名、型式）して、台数を入力。リストにない場合は、手入力してください。

ケース2：新規にミルクパーラー（自動離脱装置あり：標準装備）を導入。→要望調査票にミルクパーラー（メーカー名、型式、台数）のみを入力。

**注3：現状の搾乳方式と変更がない以下の場合。**

**補助対象：削減労働時間計算書を提出し、専門委員会における承認が必要**

- ・パイプライン方式（自動離脱あり） → 自動離脱装置の増設可（専門委員会）
- ・手動搬送方式（自動離脱あり） → 自動離脱装置の増設可（専門委員会）
- ・自動搬送方式 → 自動搬送装置の増設可（専門委員会）
- ・ミルクパーラー（自動離脱あり） → 自動離脱装置の増設可（専門委員会）
- パーラー方式の変更可（専門委員会）

**表2 給餌作業の現況と導入希望装置の組合せ**

（現況方式は△、導入希望装置は○で示す）

**注意：**導入希望装置は同じでも、現況方式が異なれば削減労働時間/頭・年の自動計算値は変わります。また、同時に申請できない組合せがあります（以下参照）。

人力方式	自動給餌（濃・粗飼料）	自動給餌（濃厚飼料）	自走式配餌車	削減労働時間/頭・年
△43h	○			43-14=29h
	○	△16h		16-14=2h
	○		△37h	37-14=23h
		○	△37h	37-16=21h
	○		○	<b>同時申請不可</b>
		○	○	同時申請可
	○	○		<b>同時申請不可</b> どちらか1つのみ申請可